

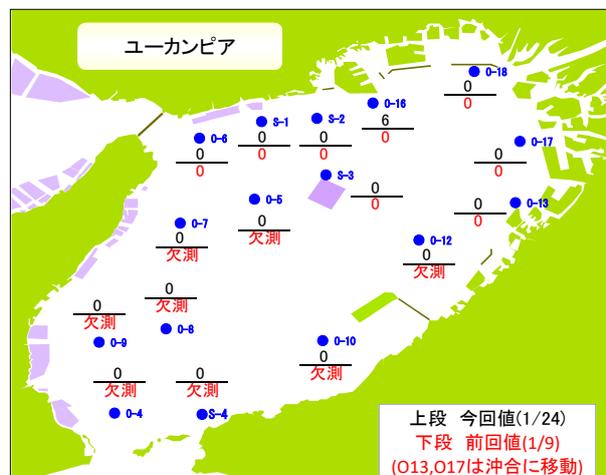
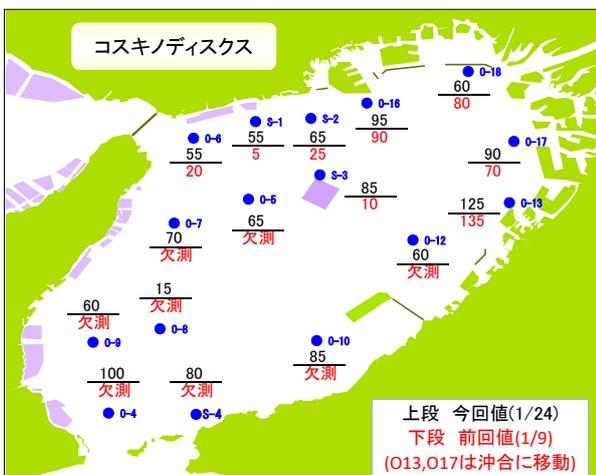
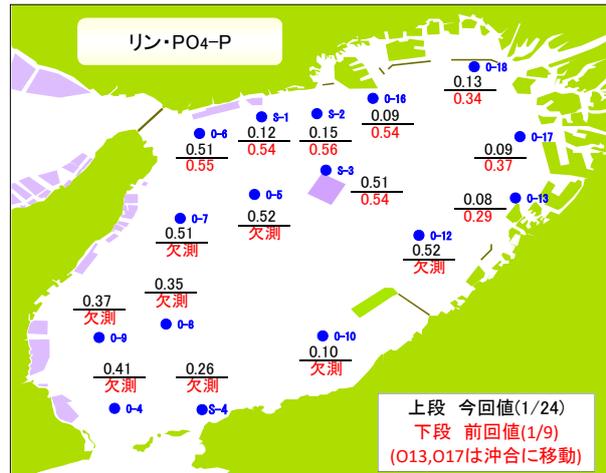
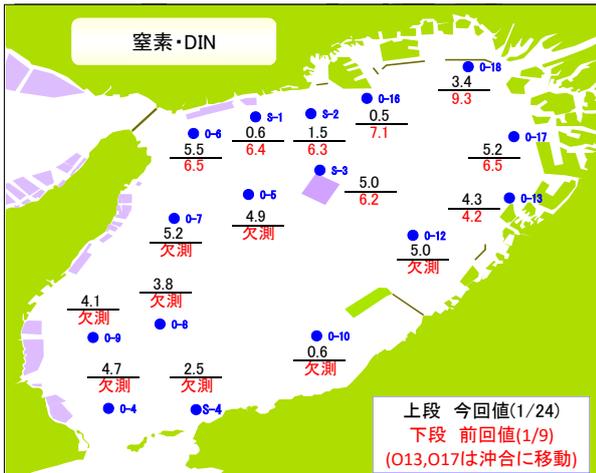
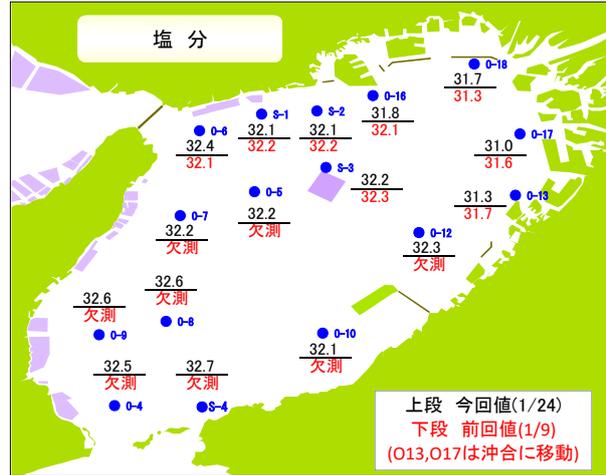
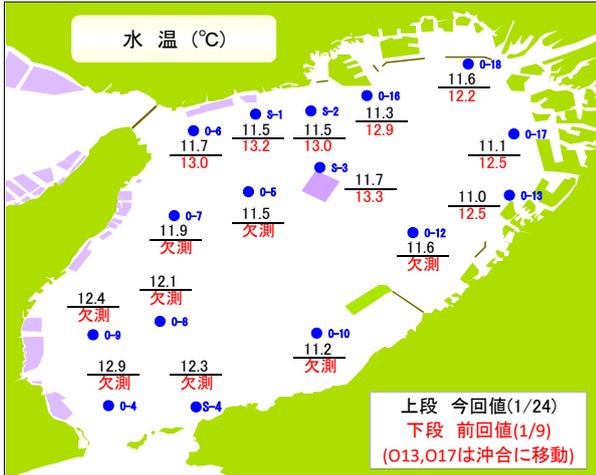
# り養殖環境速報 KO-30-02号 (大阪湾)

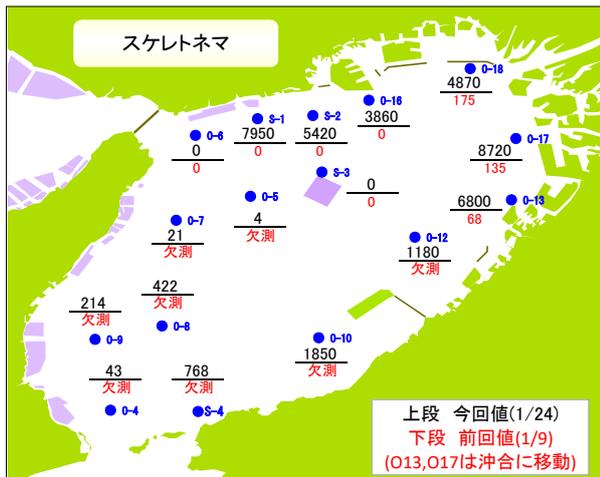
発行 平成31年 1月 25日  
 兵庫県水産技術センター(078-941-8601)  
 兵庫のり研究所(078-942-1531)

1月24日の調査結果をお知らせします。

水温は11.0~12.3℃で、湾南部海域が高めとなっています。塩分は湾奥でやや低めですが、概ね32台となっています。栄養塩は、窒素(DIN)が神戸市地先の空港沖から須磨沖にかけて0.5~1.5  $\mu\text{g-at/L}$ と非常に低くなっており、リン(PO<sub>4</sub>-P)も0.09~0.15  $\mu\text{g-at/L}$ の低い値となっています。淡路東浦の窒素は3.8~5.2  $\mu\text{g-at/L}$ 、リンは0.35~0.51  $\mu\text{g-at/L}$ です。前回、湾奥で多くみられた渦鞭毛藻(アカシオ サンガイネア)は減少しましたが、コスキノディスクスが湾全域で増加しており、湾奥から神戸市地先、大阪府沿岸ではスケルトンマが多くみられます。今後の情報に注意してください。

(次回は2月5日頃発行の予定です)





この情報は、水産技術センターホームページ(<http://www.hyogo-suigi.jp/>)でもご覧頂けます。